

平成 19 年度鳥取市政懇話会第 1 回全体会 議事要旨

日 時：平成 19 年 5 月 29 日（火）午前 10 時～10 時 30 分、11 時 50 分～正午
会 場：鳥取市役所本庁舎 6 階全員協議会室

1. 開会

司会 皆さんこんにちは。定刻となりました。ただ今より、平成 19 年度鳥取市政懇話会第 1 回全体会を開始いたします。

まずはじめに、鳥取市長竹内功が御挨拶を申し上げます。

2. 市長あいさつ

竹内市長 改めて、おはようございます。今日も昨日に続いて好天のようでございますし、朝はそう暑くないのですがこれから暑くなりそうな 1 日であります。

平成 19 年度に入りまして、5 月ももう終わりに近付いているというところでございますけれども、この平成 19 年度の第 1 回の市政懇話会を本日スタートさせていただくこととなりました。

今回は前回からもう少し人数を少なくさせていただいて、38 名ということの構成でございますが、私は就任して以来、市民 100 人委員会というものを始めまして、ほとんど公募の方での 100 人委員会を 3 年間ほど続けました。それから、合併を機にこの市政懇話会という形での、また新しいスタートを切らせていただきまして、市政懇話会を 17 年度、18 年度というふうに、合併後第 1 期の市政懇話会を行ったわけでありませんが、今回、19 年度、20 年度を念頭に第 2 期の市政懇話会の発足ということでございます。そしてこの第 2 期の市政懇話会につきましては、私が 1 年前の 18 年 4 月に、2 期目の選挙に臨むにあたりまして、5 つのローカルマニフェストというのを掲げたわけでございます。そのローカルマニフェストの 5 項目それぞれを柱といたしまして、それをテーマとする部会を構成させていただいております。皆様の御希望などにも添いながら、おそらくは事務局でいろいろ検討の上、御希望どおりでないケースがあるいはあるかもしれませんが、この 5 つの部会に御参加をいただくことにお願いしたところでございます。

鳥取市は、市民の皆さんのいろんな意見を踏まえながら、長期的な展望に立ちまして、改革というキーワードをずっと持ちつづけながら、市政運営を行っております。おかげさまで、財政的にも、厳しい中でも安定的な運営ができているということでもありますけれども、今後とも、高速道路がつかますし、新しい産業の活性化という大きなテーマがあるわけございまして、農林水産業など地元産業も含めまして、どうしてこの地域を豊かで暮らしやすい、そして子育てとか教育とか文化、そういったことにも非常に条件のいい土地にできるのか、大きなチャレンジだと思います。市民の皆

さんと行政との協働で、こうした課題の解決を成し遂げようといたしておきまして、例えば昨年度の後半から、若者会議とか、条例の方ですけれども、住民自治基本条例の制定とか、そういった取り組みもしておきまして、新しい地域のまちづくりのあり方を模索いたしておきます。

そういった状況についても御理解をいただきながら、なんと言っても皆さんの経験やお知恵をいただいて、どういうふうこれから鳥取市を発展させていくのか、この懇話会は私から見ますと大変御見識の高い方々の集まりということで、是非お力とお知恵をいただきたいと思っておるところでございます、そういったことで、御都合のつく限り積極的な御出席と会議の中での御発言、御参加をお願いしたいと思います。

いろんな思いを込めてこれからの、今日から19年度、20年度の2年間、皆様方の御意見をしっかり受け止めてがんばろうといたしておきますので、どうぞよろしくお願いをいたします。

今後の運営については、前回と少し変えたいと言ったところもございまして、そのあたりにつきましては、今日のこの全体会の中で担当する部局から、企画の方からお話をさせていただきたいと思っております。

改めて、重ねて皆様方の積極的な参加をいただいておりますことに感謝を申し上げまして、あいさつを締めくくらせていただきたいと思います。ありがとうございます。

3. 市政懇話会の運営について

司会 ありがとうございます。本日から2年間ということで、皆様方の辞令につきましては、封筒の中にお配りをさせていただいております。平成19年5月29日、本日より、平成21年5月28日までということで、2年間就任よろしく願いいたします。

そうしましたら、「市政懇話会の運営について」ということで、杉本企画推進部長が御説明いたします。よろしく願います。

杉本企画推進部長 鳥取市の企画推進部長の杉本邦利でございます。よろしく願います。

そういたしますと、市政懇話会の運営につきまして御説明をいたしたいと思います。次第をおめぐりいただきますと、後ほど御説明いたしますが、5つのローカルマニフェストに沿った部会を設置しております。前回の市政懇話会は4つの部会といたしたことでございまして、この点が1つ変わってきている点でございます。また、今回の市政懇話会の委員の皆様方は38名ということでございます。

次のページをご覧くださいと、市政懇話会の運営ということでまとめております。次のページをご覧くださいと、市政懇話会設置条例を参考に掲げておりますが、この市政懇話会でございますが、市民の市政に対する要望を広く聴くといったこと、それから市勢の向上発展を図るため、市政懇話会を置きますという「設置」。「任務」、50人以下、任期は2年といったことで、条例設置の付属機関といった位置付けがございます。

また元に戻っていただきまして、運営の資料をご覧いただきたいと思います。3番に市政懇話会は全体会、それから部会で構成をすることとしております。

市政懇話会の今回の大きなテーマは、先ほど市長のあいさつの中でもありましたように、ローカルマニフェスト実現に向けた具体的施策についてといったことを大きなテーマといたしたいというふうに考えております。

また、全体会でございますが、部会報告を行っていただく、あるいは各部会で提案した内容につきまして、その部会での報告について意見交換を行っていただくということになります。

なお、本日の全体会がございますが、その後部会に分かれていただきます。部会の終了後にこの全体会の会場にて、会長の方を選任したいというふうに考えておりますので、よろしくお願いいたします。

また、部会でございます。先ほども少しお話し申し上げましたが部会は5つのマニフェストに基づくといったことで、まず高速道路を活かした地域経済の活性化部会、2つ目は観光資源の魅力アップによります観光客の大幅増加部会、3点目は人口が増加していく住みよいまちづくり部会、4点目は地域コミュニティの充実と強化部会、最後に市民との協働と市民サービスの向上部会という、5つの部会で構成をいたします。

本日は部会長を選任していただくといったことが1つ部会のお仕事としてございます。また、部会長の進行によりまして、部会ごとに次回以降、4番にスケジュールを掲げておりますが、19年8月以降に今後5回の会議を予定しております、そういった5回の会議で具体的な施策に結びつくテーマを部会でお話し合いをいただくといったことを予定しております。

基本的には、部会1回に1テーマということになるべくその中で完結をしていただく、意見を取りまとめでいただきたいというふうに考えております。

また、部会の意見に対しましては、市といたしましてこういったことを速やかに検討すべきといった点につきましては、検討を進め、その結果を次回の部会までに委員の皆様方には御報告することといたしております。

次のページでございますが、懇話会は公開をしております。また、会議資料等につきましても公開といたしております。

議事概要につきましては、市のホームページで掲載をすることとしております。

それからもう1つ、ローカルマニフェストの取組みの状況といった資料をお配りいたしております。先ほどの鳥取市長の御挨拶でもありましたように、平成18年4月に市長2期目のローカルマニフェストとして5つ掲げております。18年度の取組みと平成19年度の取組みの計画をまとめた資料でございます。最終的には、そちらに書いてありますとおり、18年の観光の入込み客、あるいは合計特殊出生率、あるいは10月1日の推計人口、こういった数値が確定してきます秋頃に開催をする予定の鳥取市総合企画委員会におきまして、報告をし、議論の上検証したいといったことで、この資料をとりまとめております。

また、このローカルマニフェストでございますが、第 8 次総合計画を着実に進めていくといったことで重点的に取り組むもの、ということでございます。初年度の 18 年度につきましては後ほど御説明いたしますが、一定の成果が上がってきているというふうに考えております。20 万都市づくりをさらに前進をするということで、19 年度は計画的、着実に進めたいというふうに考えております。

マニフェストの 1 でございます、高速道路の関係でございますが、こういった高速道路を活用いたしまして、農林水産業あるいは製造業等の振興、雇用の拡大、そういったことを図りたいと。数値目標も掲げております。企業誘致、4 年間で 8 社以上をめざします、といった内容といたしております。

平成 18 年度の実績でございますが、そちらに掲げてあるとおりでございますが、企業の誘致 6 社を達成しております。従業者数、これは計画でございますが、およそ 207 名の雇用増といった実績となっております。

また、平成 19 年度につきましては、そちらに【新】ということで、新規の取り組みを表示しております。中小企業の人材育成助成事業、あるいは販路拡大等創出促進事業、農産物の加工施設の開設、アンテナショップ開設に向けた取り組みといったものを挙げております。

次のページをご覧くださいと思います。申し添えておきますが、詳細についてお尋ねがありましたら、各部会に分かれた際に御説明をさせていただきます。

マニフェストの 2 でございます。観光資源の魅力アップによる観光客の大幅増加ということでございます。鳥取自動車道の関係でございますが、開通をめざして平成 21 年度を「因幡の祭典」の年としたいということで、広域観光イベントを盛大に開催いたします。平成 22 年度の観光客数 200 万人以上をめざすといったことでございますが、県の統計の修正によりまして、270 万人以上をめざすということにしております。

18 年度の主な取り組みでございます。道の駅神話の里白うさぎ、清流茶屋河原を同日に、同じ 1 つの市で 2 つの道の駅が開設をするといったことは、全国的にもまれというふう聞いております。18 年 4 月にオープンをして、2 月時点でございますが両施設で 190 万人の利用者があったということでございます。次に 2009 鳥取・因幡の祭典でございます。「ゆっくり ゆったり とっとり体験」ということで、「砂丘と食と温泉」というテーマで、鳥取の豊かな自然と文化、歴史、あるいは食、こういったものを味わっていただきたいということでございまして、東部広域で取り組む、1 市 4 町で取り組む、民間主導の祭典としたいといったふうなことで、今準備を進めておるところでございます。観光入込み客 100 万人以上の増加をめざすといった、非常に重要な事業というふうなことでございます。また、このほか御好評をいただいております「砂の美術館」、あるいは「姫路・岡山・鳥取城下町物語推進協議会」、HOT トライアングルということで、3 都市の連携交流を図りたいという取り組みも進めております。

平成 19 年度の主な取り組みでございますが、何と言っても 2009 鳥取・因幡の祭典を着実に進めていくといったことがございます。また、鳥取砂丘の西側未利用地の活用

も推進をしているところでございます。

3点目でございます。人口が増加していく住みよいまちづくり。待機児童ゼロ、若者定住をはじめ、教育・健康・福祉の施策を充実させ、平成22年度の鳥取市人口203,000人をめざすということで、18年度から鳥取市におきましては人口増加対策本部を設置いたしております。総合的な施策の推進を図っておるところでございます。特に、定住促進につきましては、そちらに掲げてあるとおりでございます。Uターン相談支援窓口、フリーダイヤルを設置したといったことで、これまで、3月末まででございますが、受付は262件、定住者の状況は4組8人といった実績を挙げております。このほか、ふるさと就農舎（鳥取の農業ビジネススクール）の開設を18年度は進めてまいりました。一方で保育所の待機児童ゼロにするといったこと、あるいは子育て広場を文化センターへ移転して拡充をするというような、子育て支援の施策にも取組みも進めております。

19年度につきましては、定住促進の関係でございますが、空き家の見学ツアー、あるいはお試し定住体験事業といった新しい試みも行っております。またU・J・Iターンの住宅支援事業補助金といったことで、定住をされる方が家を改築等される場合に助成をするといった制度も新たに設けております。農業ビジネススクールは開校いたしております。このほか、旧NTT体育館に教育センターを設置するといったことで教育にも力を入れております。それから、子育て支援カード、これは民間の協賛事業者の方と連携して、子育て支援カードを提示することで割引するといった取組みも新たに始めたところでございます。3ページが一番下の表でございますが、合計特殊出生率が落ち込んでいたものが、18年度の見込みでございますが鳥取市は1.56といったことで、伸びてきていると。これをずっとこの傾向が続くような努力をしてまいりたいと考えております。

4ページをご覧くださいと思います。マニフェストの4でございます。地域コミュニティの充実と強化でございます。平成19年度中に地区公民館の充実を図り、地域の自治会あるいは市民団体が行う防災・福祉・文化・スポーツ、こういった活動を強力に支援したいといったところでございます。

18年度につきましては、文化センターの中に生涯学習センターあるいは文化活動広場を移転拡充しております。また、合併地域におきましては、8つの総合支所がございりますが、地域審議会との連携を図りながら地域振興策を策定していただき、現在その事業の取組みを進めていただいております。このほか、地区公民館の整備、あるいは集会所の新築建設等の助成といった取組みを行ってまいりました。

19年度は、先ほど市長の御挨拶でもありました公民館のあり方、生涯学習・地域コミュニティの拠点づくりといったことで、幅広く市民の皆さんの御意見をいただきながら、最も身近な地区公民館をコミュニティの拠点としたいといった取組みを鋭意進めているところでございます。

最後にマニフェストの5でございます。市民との協働と市民サービスの向上。

これにつきましては、平成18年度に若者との協働のまちづくりをめざすといったことで若者会議を新設しております。また、市役所本庁舎1階、駅南庁舎にも市民総合相談窓口を設けているところでございます。特に市民総合相談窓口につきましては、多くの御相談を受付しているといったことで、市の管理職も総合窓口案内業務を研修の一環として取組みを行っております。

19年度につきましては、先ほども市長の御挨拶の中でありましたように、住民自治基本条例の策定に向けた取組みといったことで、特にこれからのまちづくりは市民の皆さんとの協働ということが非常に重要になってまいります。そうした点から、まちづくりに果たす市民あるいは議会、それから行政の役割をきちんと規定をして、まちづくりを協働で進めるといった基本ルールを作りたいということで現在市民中心の委員会を設けて、この条例の検討を進めております。このほかごみのポイ捨て禁止条例の制定に向けた取組みを行っております。最後に、市長と気軽にトーク・トークということで、4月から特に鳥取市で広聴事業に力を入れておりますし、地域づくり懇談会、市長への手紙等々を行っておりますが、新たに市長と市民の皆さんが、鳥取市が明るく元気なまちになる、こういった取組みあるいは夢を共に語り合うことで5人以上の皆さんから申し出があれば、市長と気軽にトーク・トークといった会議を行うという取組みも始めたところでございます。

大変長くなりましたが、ローカルマニフェストの取組み状況については以上でございます。

司会 ただ今、運営方法なりマニフェストにつきまして、説明をさせていただきました。

委員の皆様方、何か御質問等ございましたら。

委員 部会の運営に関してなんですけども、「基本的に」ということですが、テーマを1回の部会で完結させるということ、スケジュールにも関係するんですけども、本当に鳥取市は今市民の声を非常に聴いていただく機会というものをいろんな形でとっていただいていますので、市政懇話会という場では単なる委員の声を聴くだけというものが目的ではないと思うんです。

ですから、もっと深く、市長がおっしゃったように見識ある方がたくさん集まってらっしゃって、市勢の向上発展を図るためということですので、さらに深く具体的な提言をしていく必要があると思うんですが、このスケジュールで1回ごとにあるテーマについて意見を言って集約して全体会で言うというようなのは、非常に精査されていないというか、もう少し一つのテーマについてまずは現状を知って、委員みんなで勉強して、そして部会でこういうふうにしていきたいというような、具体的に企画提言していけるまでにもっていった方がいいのではないかと思います。

スケジュールもこれは案で、今後たぶん部会によっていろいろ調整されるんですが、忘れた頃に開催されて、突き詰めた話合いというのがしにくいんじゃないかと感じるのですが、市の懇話会に対する思いはどうでしょうか。

杉本企画推進部長 ただ今大変貴重な御意見をいただきました。事務局の方の考えといった

しましては、ローカルマニフェストの5つの大きなテーマで部会を分けております。部会の際に、一つずつのテーマと申し上げましたけれども、関連する部会員の皆様の話合いの中で関心の高いテーマの一つずつ選んでいただいて、検討結果を全体会で御報告を、といった思いで御提案申し上げました。これは部会に分かれていただきまして、今森本委員がおっしゃいましたように、もう少し現状を知った上で、より深い検討が必要だといったことは、事務局の方に言ういただければ、そういった資料を取りそろえながら、部会を開催するその時、それ以前に市でお配りをしたりして、その部会に集まっていたいただいた時点では、より濃密な協議ができるような工夫をしたいと思っております。決して一つ必ず完結するよとといった思いはございませんので、よく部会の皆様方とお話をいただいて、部会としてこういう検討をしようといった方向が決まれば、それで進めていただければという思いでございます。

事務局の思いとすれば、せっかくこれだけの皆様方にお集まりいただいているので、多くのテーマについて議論をしていただいて御意見をいただきたいといった思いで御提案をしたものでございますので、その点を御了承いただければと思っております。

竹内市長 意見を聴くだけでなく突っ込んだ議論なり話合いも必要だという御指摘がありました。その点については、聞いて聞き流しになってはいけないというのは常に大事な点だと心得ております。

基本的にはそれぞれの部会で、部会に関係の深い担当の部長なり私や副市長もできるだけ出るようにいたしますので、行政との間の意見交換も含めて、議論していくのがいいと思っております。最終的に委員の皆さんの方で、是非こういうことをやったらどうだと、現状なり課題なりはおおかた分かっている部分もありましょうし、それから、必要な資料を求められれば、こちらで積極的に提出もいたしますので、それらを踏まえて、むしろ役所では気の付かない、役所ではなかなか出てこないようなユニークな意見なども含めて、鳥取市政というものが、あるいは鳥取市というものがたくさんの課題などを抱えておりますので、5つの大きな方向性に沿いながら、提言そのものは委員の皆さんの御意見としてまとめていただくことがお願いしたいことでもあります。

その間に執行部との間で意見交換、あるいは資料を出すというようなこともさせていただきます。1回ごとに完結できた方が、会議の間も開いていて、話が盛り上がってそこでまとめて「こういうことについて検討しなさい」とか「こういうことを実施すべきである」とか、そういう意見の要約ができた方がいいというふうに考えての部会運営の説明であった点も御理解をいただきたいと思っております。

3回くらいやると、また全体会がありますので、そこでそれまでの議論の集約も発表もいただいて、他の部会の方にも紹介し、また御議論をいただけたらということで、最終的には部会の開催は6回ここでは予定しておりますが、その中間などでもう1回開きたい、この点をもっと深めて、というようなことがありましたら、できるだけ弾力的に開催についても応じていきたいと思っております。

皆さんの会だということで、自主的な運営も含めて進めていただけたらとお願いを

申し上げたいと思います。またいろいろな方の御意見をいただきながら、運営については我々も考えますし、それぞれの部会でも考えていただけたらと思います。

司会 また部会がございますので、manifestoの細かいところまで御質問ということがあれば、そのときをお願いいたします。

そういたしましたら、引き続き部会の方に分かれていただきます。

一部会終了後再開

各部会で部会長を選任。

- ① 高速道路を活かした地域経済の活性化部会 清水昭充委員
- ② 観光資源の魅力アップによります観光客の大幅増加部会 山本大順委員
- ③ 人口が増加していく住みよいまちづくり部会 石谷雅文委員
- ④ 地域コミュニティの充実と強化部会 八村輝夫委員
- ⑤ 市民との協働と市民サービスの向上部会 田中仁成委員

部会長による互選の結果、

全体の会長に八村輝夫委員、会長代理に石谷雅文委員が選任され、承認。

—閉会—